

土砂災害の恐ろしさ

早川中学校

三年

遠藤

大輝

えんどう

たいき

僕が住んでいる町は、山や川などの自然が多く緑が沢山あります。春には山桜、秋には紅葉と、四季を通しても美しい山々を見せてくれます。そんな自然が多い町で育った僕にも、一つ心配な事があります。それは、生活道路が一本しかないという事です。台風など大雨が降ると、通交止めや、土砂崩れで町営バスが止まり、学校に行けなくなりました。もう事が良くあります。

僕が小学生の頃、夜遅くに何か崩れる大きな音かしました。翌朝一キロメートル先の山が大きく崩れ、道をふさいでいました。通勤する人などか、足止めされていました。仕事や学校にも行けず、陸の孤島になりました。いましました。買い物に行き食料の調達をする事も出来なくなりました。病院に行く事も出来ません。一夜にして、生活が不便になっ、た事を今でも覚えていいます。

最近、四国で大雨が降り、その影響で土砂崩れが相次いで起こり、ある宿泊施設で児童らが一時孤立することになったというニュースも見ました。それには、実際に土砂崩れが起きている所も写っています。土や岩石や樹木が、すごい勢いで崩れていました。僕は実際に土砂崩れが起きている所を初めて見ました。その激しさに、とてもおどろきました。崩れた所が川だったのでもまだ良かったですが、道路や民家、人がいる近くで起こったら、とても危険です。また、ニュースには、土砂崩れのせいで孤立してしまったりという事もありました。児童たちは、とても不安な思いをしましたが、思います。もし僕だったら、同じく不安な思いになり、落ち着きかなくなると思います。そのように土砂崩れは、生活にも心にも負担を与えてしまう事だと思われました。また、後日ニュースを見たら、今度は台風十一号が来るというニュースを聞いています。

した。強い雨が降るといっていたので、十分に土砂崩れが起こる可能性があります。なので、台風が来る前に食料の調達をして、陸の孤島への対策をしたいです。また、早川町は土砂くずれで電線が切れて停電になってしまいう可能性もあるので、停電の対策もしたいです。大変な思いをしますが、この町に住む限りはしよつかないことです。今回の台風で土砂崩れが起こるのか非常に心配です。

僕は、他の所ではどのような土砂災害に合っているのかが気になり、インターネットで調べてみました。日本では各地で土砂災害が起こっているそうです。また、外国のインドネシアやネパールなどでも土砂災害が多数発生しています。年間千人程度の死者がでています。なので、日本の技術支援により、対策が進められているそうです。調べてみて僕は、外国でも土砂災害があるという事を始めて知りました。そして、土砂災害で人が千人も亡くなってしまうという事にとってもびっくり

りしました。土砂災害は、生活が不便になるだけだと思いかちですか、人の命をもうばってしまっても危険なものだと改めて感じました。

そんな自然災害にそなえて普段から心かけている事があるか、母に聞いてみました。最初にする事は天気予報を良く見ておくことだと思います。台風の来る前に食の調達、災害用の非常袋を作っておく事、中には水や食料、衣服、懐中電灯、電池、薬など、かばんに入

れて用意してあるそうです。僕は、その話を聞いて、前もって準備が必要なんだなと感じました。実際に起きてほしくないですが、いざという時にあわてず行動する事も大事ななと思います。また、僕が小さい頃、電気、ガス、水道が一度に全部使えなくなつた事がありました。ごはんを作る事もできない状態です。それでも不便になりました。今思えば、普段あたりまえのように使う事のできた物が、使えない状況になつた時、あたりまえかとてもあ

りかたく感じました。自分の身に何か起きな  
ければ分からないことです。

いつ、どんな時に災害が来るのか分かりま  
せん。防災訓練などにも積極的に参加し、身  
を守る事や、助け合う事が大事だと思います。